

新段階を迎えるEU

—銀行統合、欧州デモクシー、安全保障—



開催日:2014年9月19日(金)~21日(日)

会場:大学セミナーハウス
(東京都八王子市下柚木1987-1)

【特別講演】

※特別講演は英語、通訳付

「ヨーロッパの安全保障—ソフトパワーが直面する課題」

European security - testing times for soft power

駐日欧州連合代表部公使参事官 アレクサンダー・マクラコラン氏

特別講演は講師陣、分科会で徹底討論

EUセミナー企画委員会

- | | |
|------------|--------------------|
| 押村 高 | 青山学院大学国際政治経済学部 教授 |
| 小久保康之 | 東洋英和女学院大学国際社会学部 教授 |
| 田中 素香 | 中央大学経済学部 教授 |
| 中西優美子 | 一橋大学大学院法学研究科 教授 |
| 蓮見 雄 | 立正大学経済学部 教授 |
| 福田 耕治 | 早稲田大学政治経済学術院 教授 |
| 渡邊 啓貴(委員長) | 東京外国語大学総合国際学研究院 教授 |

【募集要項】

募集人員:80名(先着順)

参加資格:大学生・大学院生・社会人

参加費:大学生・大学院生は12,000円(会員校は10,000円)、社会人は14,000円

参加費には2泊3日の宿泊・食事代、資料代、消費税を含みます。

(会員校についてはホームページでご確認ください。)

申込方法:ホームページ掲載の申込フォームにてお申込み下さい。折り返し受付メールを返信しますが、1週間以内に連絡がない場合には、お手数ですが、下記までご連絡下さい。

申込締切日:9月16日(火)

問合せ先:公益財団法人大学セミナーハウス

セミナー・留学生グループ

〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1

TEL:042-676-8532(直通) FAX:042-676-1220

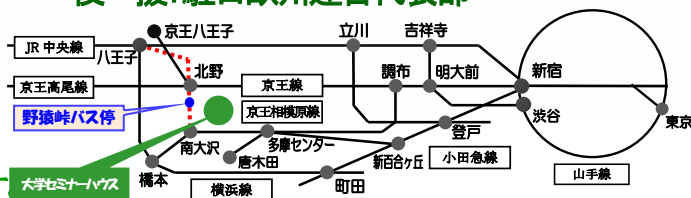
E-mail:seminar-g@seminarhouse.or.jp

URL:http://www.seminarhouse.or.jp/



セミナーの詳細はQRコードをスキャンして詳しい情報を見よう

主催:公益財団法人大学セミナーハウス
共催:東京外国語大学国際関係研究所
後援:駐日欧州連合代表部



公益財団法人大学セミナーハウスは2015年に開館50周年を迎えます

開催主旨

ユーロ危機を乗り越えたEUは新たな段階に向かっていく。ユーロ圏の財政危機の経験はEUの深化を一層進めることになった。銀行同盟はその一つの端緒であるが、実際にはその先行きは容易ではない。同時に、本年五月の欧州議会選挙にみる極右ポピュリズムの勢力拡大は民主主義の実験としての欧州統合やEUガバナンスにとって大きな試練となる可能性もある。リビア・マリへの欧州諸国の介入は、近隣政策とその具体的なひとつの表現としての共通防衛政策の難しさを露呈させた。そしてEUへの加盟プロセスを発端とするウクライナ問題は、EUの近隣政策ばかりか、米欧関係・エネルギー・地政学的な大國間関係の課題を内包する。ウクライナ問題は安全保障面でのグローバルイシューとして世界のコミットすべきテーマである。新しいテーマに直面しつつ、次のステージを模索するEUの今日についてみんなで考えてみよう。(EUセミナー企画委員長 渡邊 啓貴)

分科会

第1分科会「危機克服へと進むユーロ圏—銀行同盟を中心に」 中央大学経済学部教授 田中素香

統一テーマ「新段階を迎えるEU」の経済面、経済政策面を対象とする。2008年9月のリーマン・ショックを境にEUは経済危機に陥り、さらに2010年春から12年夏にかけてユーロ危機に襲われた。昨年後半からユーロ圏経済はようやく回復過程に入ったが、スペインやギリシャは依然として失業率が非常に高く、ユーロ危機はなお克服途上にある。ユーロ圏が危機を繰り返さないための制度として、欧州安定機構(ESM)が創設され、さらに新しく「銀行同盟」もスタートする。今年の11月にはSSM(単一銀行監督機構)がスタート、銀行の破綻処理を担当するSRMも構築が始まる。本分科会はこの「銀行同盟」に焦点を当てるが、それに限定することなく、ユーロ危機について、さらにEU・ユーロ圏の経済・金融危機の克服について、社会面も含めて広く議論する。



第2分科会「ウクライナ危機とEU」 立正大学経済学部教授 蓮見 雄

ウクライナは、国家分裂と経済破綻という2つの危機に直面している。複雑な歴史的背景に政治問題、経済問題が重なり、加えてEU、アメリカ、ロシアなどの介入(ここでは善悪の判断はしない)により、ウクライナ危機はグローバルイシューとなっている。①きっかけは、2013年秋のEUとの連合協定締結の延期だが、②EUが仲介しロシアも協力した14年2月21日の和平合意が半日にして破綻し、事態はエスカレートして、クリミアのロシア編入に至り、③さらに紛争は東ウクライナに広がった。④大統領選後、事態の沈静化が期待されているものの、新大統領は国民の和解と経済再建という緊急課題を解決しなければならない。EUは、ウクライナに、どのように対応してきたのか、これからどのように対応しようとしているのか?日本はどう対応すべきか?参加者と共に考えてみたい。



第3分科会「日本およびEU間のFTAと戦略的パートナーシップ協定」一橋大学大学院法学研究科教授 中西優美子

分科会では、現在交渉中の日本とEUの間のFTA及び戦略的パートナーシップをとりあげます。EUは、これまで韓国とFTA及び政治的協定である包括的枠組協定を締結してきました。また、現在、アメリカ等とも類似の協定(TTIP)を交渉中です。セミナーでは、日本EU間のFTA及び戦略的パートナーシップを理解するとともに、EUと第三国間の協定と比較しつつ、どこに難しさや問題点があるのかを見つけていきたいと思えます。



第4分科会「EUの民主的ガバナンスと欧州議会」 早稲田大学政治経済学学術院教授 福田耕治

2014年5月下旬、リスボン条約の体制になってはじめての欧州議会選挙が実施された。今回の直接選挙は、欧州債務危機後、はじめての欧州市民の世論、政治意識を問うものでもあった。選挙の結果は、前回と同様に、欧州統合支持勢力である第1党の欧州人民党と第2党の社会民主同盟の2大会派で過半数を占めたが、反EU政党や移民排斥をうったえる極右政党の躍進が目立った。EUへの欧州市民の信認が低下したのはなぜだろうか。リスボン条約によるEUの機構改革では、EUのガバナンスを一層民主化するための改革が進められた。また欧州債務危機を受けて、財政危機を救済する「経済ガバナンス」の制度改革も進み、ユーロは徐々に安定する方向にある。それにもかかわらず、EUに対する一般市民の信頼感が低下し、逆に反EU、極右・反移民ポピュリズム政党への支持率上昇へとつながった理由は何か。この分科会では、EUの機構問題と民主主義について考えてみたい。



第5分科会「EUの近隣政策と米欧同盟関係」 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授 渡邊啓貴

国際社会の安全保障面での今日の主要なテーマは、「介入」である。この介入には様々な意味がある。人間の安全保障、とくに保護される権利にいたる紛争解決・平和構築の一連のプロセスは、さまざまな難しい問題を抱えている。この分科会では、EUの対外政策・近隣政策の基本を勉強した上で、EUが国際問題にどのような形でコミットし、どのようなスタンスを取っているのかということについて議論する。EUは古典外交的な大國的なスタンスをとるケースもあるし、人道支援のための文民活動を基礎にしたミッションを重視する傾向も強い。EU対外政策の抱える諸問題をアメリカ外交との比較、米欧同盟の枠組みの中での「協調と対立」の側面から検討する。



第6分科会「市民連合という視点からみたEUの未来」青山学院大学国際政治経済学部教授 押村 高

機構や制度の面で前進しているEUも、市民のインプットや民主的な意思決定という面ではヨーロッパ的な基準を満たしていないと言われていきます。このセッションでは、シティズンシップとは何か、なぜEU市民の発言権が強化される必要があるかの検討からはじめ、EUの安定化には構成国を横断した市民間の連帯が不可欠である点を確認し、さらに、EUによるアイデンティティ共有のための政治、教育、文化、司法、メディアなどの政策について、現状を分析しつつ課題を洗い出したいと思います。「ヒト」というこれまでとは異なった視点からEUの意義を考えてみたいという学生を歓迎します。



第7分科会「EU統合と小国」 東洋英和女学院大学国際社会学部教授 小久保康之

現在EUに加盟している28カ国の内、大半が中小国家である。また、EUに加盟しないという判断をしている小国も存在している。ヨーロッパの小国はEU統合とどのように付き合いおとうしているのだろうか。EU統合によりヨーロッパ全体が制度化され、経済が一体化される中において、小国はEU統合の中に埋没してしまうのだろうか。それとも独自の政策を打ち出すことによって、小国としての存在意義を守らんとしているのだろうか。反対に、かつてのベルギー、オランダ、ルクセンブルクが実践してきたように、小国の存在は、大國間の調停役として必要不可欠な存在と言えるのだろうか。それともEUにおける小国の位置づけはEU拡大とともに変わってしまったのか。本分科会では、EU統合における小国の役割という視点と小国がEU統合に参加することの意義についての2つの側面から議論を行うことにより、EU統合と国家との関係について考察してみたい。



当日プログラム

※一部変更する場合があります。

9月19日(金)		9月20日(土)				9月21日(日)	
17:00 ~	受付	8:00 ~	朝食	17:45 ~	18:45 夕食	8:00 ~	朝食
18:00 ~	19:00 夕食	9:30 ~	12:00 分科会討論2	19:00 ~	21:30 分科会討論3	9:30 ~	11:50 分科会討論4
19:15 ~	20:45 全体会1	12:00 ~	13:00 昼食	21:30 ~	23:00 情報交換会	12:00 ~	13:00 昼食
21:00 ~	22:50 分科会討論1	13:30 ~	15:00 全体会2(特別講演)			13:00 ~	15:00 全体会3・閉会